

第2回学校自己評価アンケートの結果について

三寒四温の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

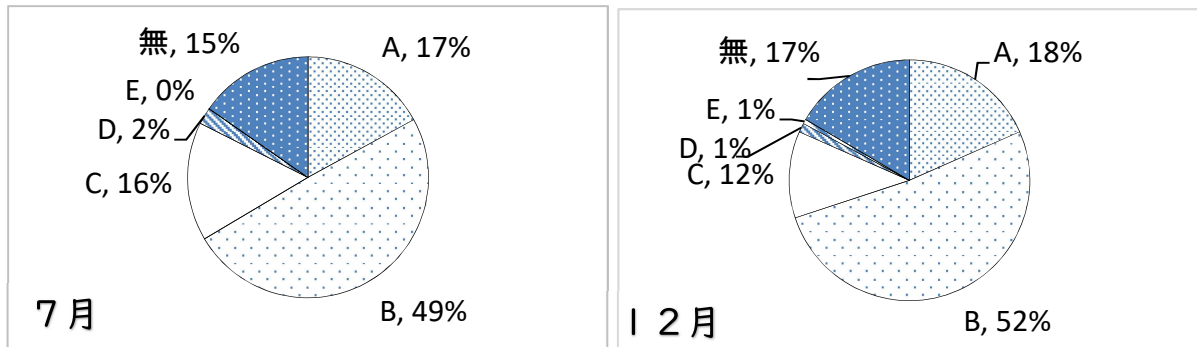
12月に実施しました第2回学校自己評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。保護者の皆様からいただいたご意見を踏まえて、次年度の教育活動に活かしていきたい点について職員全体で考えていきます。

今後も、保護者の皆様と共に歩む学校でありたいと願っております。よろしく願いいたします。今回のアンケートにつきましては、150家庭より回答をいただきました(解答率85%)。

【質の高い個別の指導計画・授業】

①個別の指導計画をもとに、授業のねらいがたてられ、達成のための工夫がされた授業になっていると思いますか。

A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う

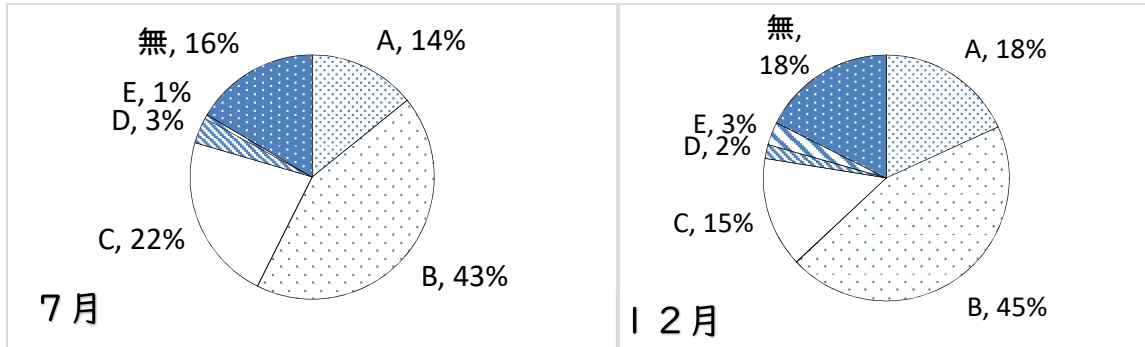


質の高い個別の指導計画やそれを基にした授業に関して、A「大変満足している」と、B「満足している」という2つの合計は1回目と比較すると4%上回りました。コメントでは「特性をふまえた計画を立てている」「一人ひとりに工夫が見られる」といった声をいただきました。今後も、本人の願い・保護者の皆様の意向を大切にしながら、授業の修正・改善を図り、より一人ひとりの実態に適した教育活動を実施していきたいと考えています。指導・支援計画の立案や授業の考案にあたっては、学校だけでなく家庭や各関係機関における児童生徒の姿を共通理解したうえで、課題を設定することを大切に考えていますので、今後も密に連携を取っていただけるようご協力をお願い致します。

【職員の専門性】

②子どもの支援について、職員が特別支援教育の専門性を生かしながら支援ができていると思いますか。

- A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う

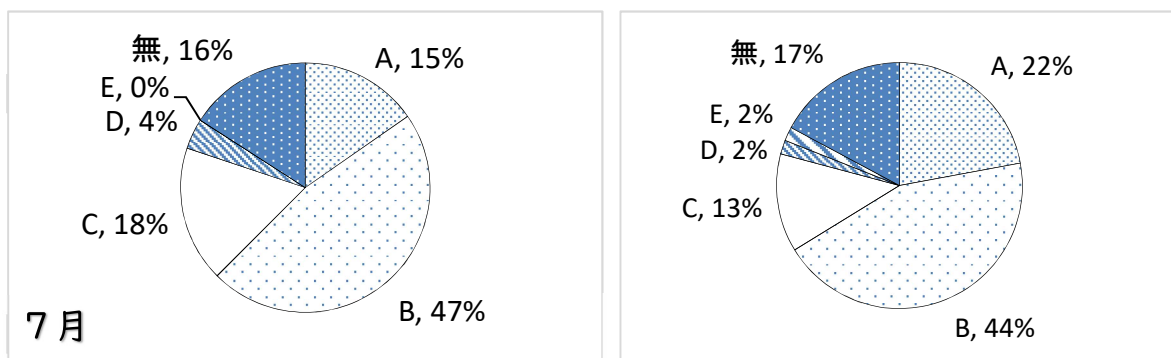


2回目の結果は、A「大変満足している」、B「満足している」という2つの合計が63%であり、1回目より6%上回り、約6割となっています。概ね良い評価をいただいている一方で「職員間の専門性については差がある」「工夫が見られない」といったご意見もいただきました。この結果を真摯に受け止め、すべての職員が特別支援教育の専門性を生かした指導・支援をしていくことを目指していきたいと考えています。職員からも、“障がい種・特性に合わせた支援方法を考えることの難しさ”や“専門性を向上させる必要性を強く感じる”といった意見が多数出ております。今後も職員のニーズに応えた研修を行い、学びを重ねながら授業力の向上をはかっていきたいと考えております。

【児童・生徒が自ら動く姿が見られる授業】

③子どもが見通しをもち、授業の内容を理解し、自ら動く姿が見られる授業になっていると思いますか。

- A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う

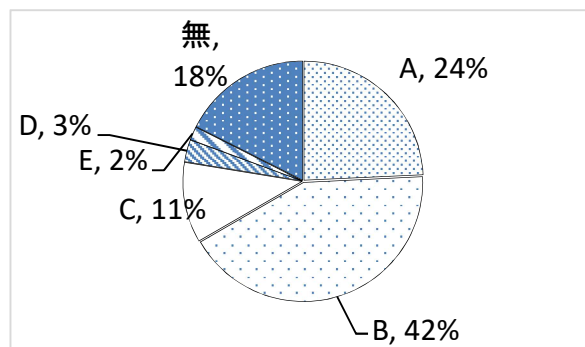
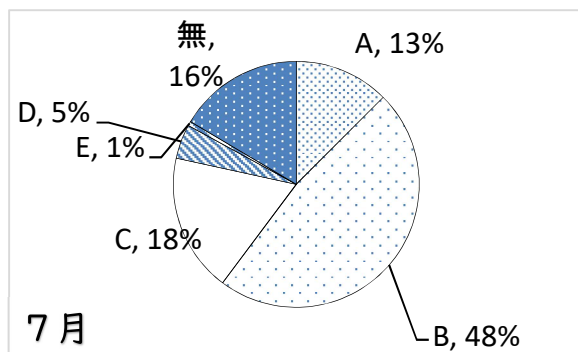


1回目と同様にA、Bの合計が6割を超えており、引き続きおおむね良好な結果が得られました。各部では児童・生徒理解の時間を大切にしながら、指導計画を立てて、目標が達成できるような状況づくりをすることを心がけてきました。授業においては、学級内で振り返るだけでなく、各部部長を含めた自立活動チームが定期的に参観をして、第三者の視点から児童・生徒と職員の動きについてフィードバックをする機会も取って参りました。保護者の皆様には学校公開・参観日等で授業を見てご意見をいただけたことが大変良い機会となりました。

【個々の良さが伸びる教育】

④学校は、子どもの一人ひとりの障がいの特性や実態に配慮して、個々の良さが伸びる教育が実践できていると思いますか。

- A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う

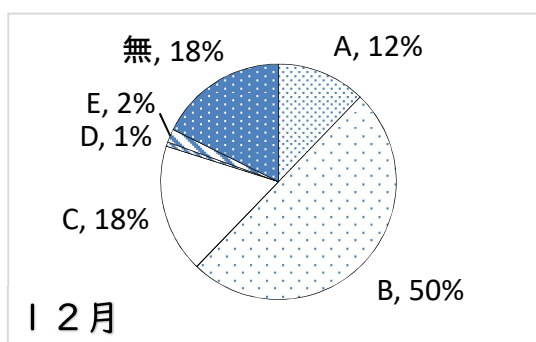
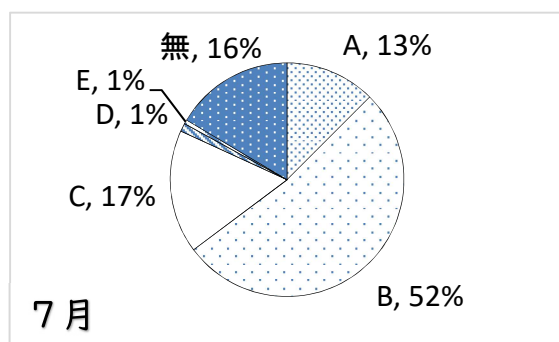


1回目のアンケートではA、Bの合計は61%でしたが、2回目は66%とやや上回る結果となり、Aの値も2割を超えています。「できることが増えている」「見通しをもって授業を行えている」といった意見をいただきました。一方で「個別対応が少ない」といった声もあり、より一層教育の質を向上させることが求められています。本校では、一人ひとりの良さを発見しながら、その子の強みを伸ばすことを大切に、「個々に合わせた教育」に取り組んできました。今後も、特別支援教育の基礎知識として障がい理解を学び、さらに個人に焦点をあて適した指導・支援を行ってまいります。「わかる・できる・次につながる」教育の実践に向けて今後も邁進してまいります。

【地域との連携・地域への支援】

⑤学校は、地域に開かれた学校を目指し地域の方々との連携（交流・支援等）を図りながら教育を行っていると思いますか。

- A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う

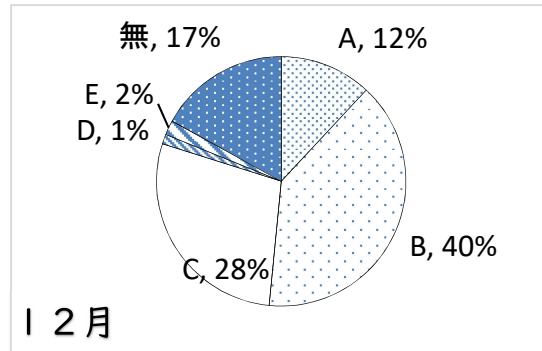
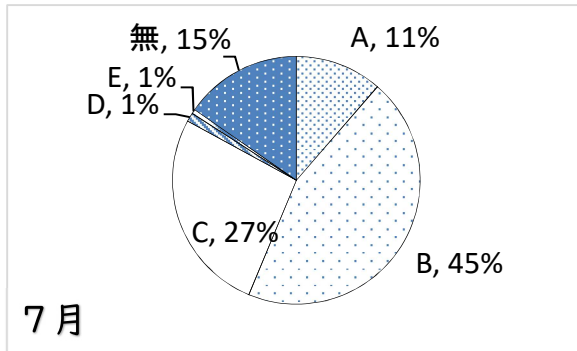


1回目と比較してやや数値の合計は下回りましたが、依然としてA、B合わせて6割を超えており、地域との連携について多数の方が大切な機会であり、また今後も継続をしていってほしいと感じてくださっていることがわかりました。学校間交流で子どもたちとの触れ合いを大切にしたり、地域の方々に交流や学習を通して本校を知っていただいたり、より開かれた学校を目指して繋がりを維持していきたいです。公開や訪問の機会をより充実させられるよう、地域の方からもご意見をいただきながら教育活動を行ってまいります。

【圏域への支援】

⑥学校が諏訪圏域に対して実施している相談支援や就学支援は、適切に行われていると思いますか。

- A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う

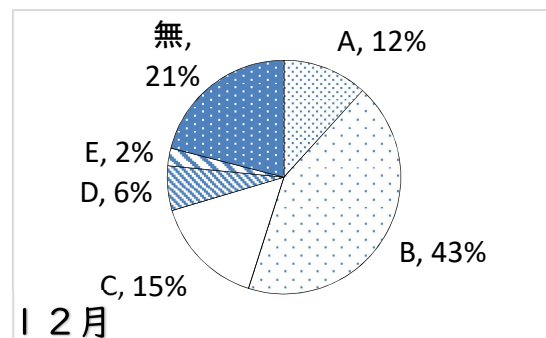
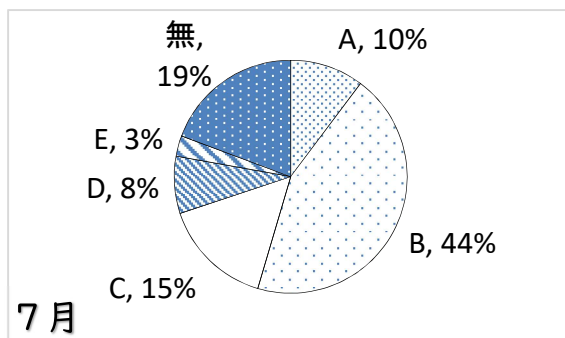


1回目と同様に、「どう評価したらよいかわからない」「相談支援として何が行われているかをまず知りたい」等、相談支援や就学支援についてどのようにとらえたら良いか判断に迷うといった意見を多数いただきました。本校では、児童・生徒の、その時々々の姿に最も適した学びの場を常に考えていくことを大切にしながら、相談支援と就学支援を行っております。特別支援学校のセンター的役割として、本校だけでなく、諏訪圏域への支援も行っており、学校HPで詳細についてはご確認いただけます。

【安全・安心な学校環境の充実】

⑦学校が実施している、安全指導や避難訓練、また現状の施設・設備等の環境は、子どもが安全な生活を送る上で十分だと思いますか。

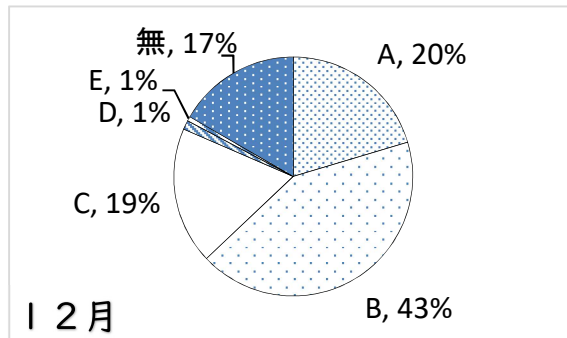
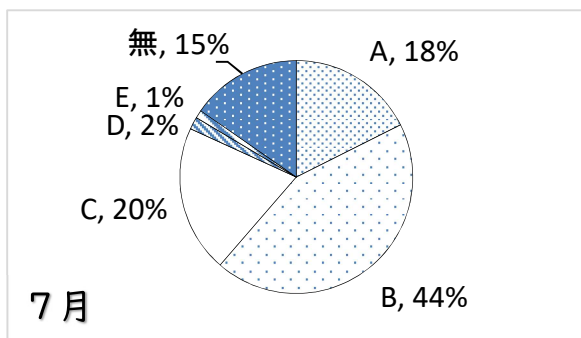
- A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う



ABを合わせた割合は55%であり、1回目と同様に災害時に備えた施設・設備面に関する点での心配や改善が必要といった意見を多数いただきました。今年度は、エアコン工事の着工、砂利道の整備、トイレの改修工事等、徐々にではありますが整備・改修を行っているところです。また、引き渡し訓練の際には保護者の皆様にご協力いただき、災害時を想定した訓練を実施し、緊急の場面での課題を明確にすることができました。今後も、改善点については、学校・PTAから県への陳情等でさらに要望していきますので、気になる点等ありましたらお知らせいただければ幸いです。

⑧学校は、いじめ・体罰・セクハラ防止に努め、子どもの人権に配慮した支援を行っていると思いますか。

A：大変満足している B：満足している C：どちらでもない
D：やや修正が必要だと思う E：修正が必要だと思う



ABを合わせた割合は6割を超えており、第1回目よりもやや数値が上昇する結果となりました。児童・生徒の人権については教職員間でより意識を高めていき、個々に配慮した教育活動を行っていくことを今後も徹底していく次第です。TT（チーム・ティーチング）の良さを生かし、自身や他職員の児童・生徒への接し方や教育活動については日頃から意見を交わし合い、改善点を振り返り、質を高めていける学校を目指していきます。

お忙しい中、第1回並びに第2回目アンケートへのご協力ありがとうございました。今年のアンケート結果を踏まえて、来年度以降もよりよい教育活動が行われるように取り組んでまいりたいと思います。

長野県諏訪養護学校
教頭 星合 祐一
担当 熊谷 祥
TEL 0266 - 62 - 5600